

(2) 主要魚介類の入荷と価格の見通し

仙台市中央卸売市場
(電話) 232-8121

【概要】

鮮魚類は天然本マグロ、メバチマグロともに入荷が不安定で前年並みの高値が予想されます。養殖ハマチは順調な入荷により前年よりも安値で推移する見込みです。ナメタガレイ、タラ類は安定した入荷が見込まれ前年並みの価格が予想されます。養殖カキは猛暑の影響で入荷量の増加が見込まれないことから、やや高値で推移する見込みです。エビ類は全般的に円安の影響から高値で推移する見通しです。いくらは秋鮭が不漁だったものの前年の在庫があり、安値で推移する見込み、数の子は輸入品の数量が減少し前年よりも高値で推移する見込みとなっています。

【品目別】

マグロ	天然本マグロは北海道・青森中心の入荷となります。入荷量は減少し、高値で推移する見込みです。養殖本マグロは養殖量が多く前年よりも安値となる見込みです。メバチマグロは宮城・千葉・和歌山など国内中心の入荷で、輸入品が少なく前年並みの高値で推移する見込みとなっています。冷凍マグロは安定した入荷状況で前年より安値で推移する見込みです。
ハマチ	養殖物は全国的に養殖量が多いため、餌代や経費等の高騰はあるものの、安定した価格で前年より安値で推移する見込みです。
養殖カキ	猛暑による高水温の影響で生育できないカキが多くみられ、年末にかけての数量増加はあまり期待できず、前年よりやや高値で推移する見込みです。むき身は宮城、岩手、広島県産、殻付は宮城、岩手県中心の入荷となる見込みです。
タコ	北海道産水タコは国内の原料在庫が少ないため、加工メーカーからの引き合いが強く、製品は前年よりも高値が見込まれます。アフリカ産真タコは順調な入荷で前年並みの価格ですが、大型サイズ(2kg前後)についてはヨーロッパの需要が高くやや高値が予想されます。
ナメタガレイ	11月後半から12月前半は根室・釧路の道東地区、後半にかけては日高・道南地区からの入荷が増加する見込みです。近年は水揚げ量がまとまっていることから、今年も安定した入荷が予想されます。
タラ	国内産は北海道・三陸中心の入荷が見込まれます。前年よりもやや水揚げ量が低下しています。海外産タラ製品の価格が低下しているため、国内産の需要が落ち込む可能性があります。
カニ・エビ	ズワイガニ・タラバガニはどちらも戦争によるアメリカの輸入禁止の影響で、前年よりも安値で推移しています。毛ガニは北海道産中心の入荷で前年並みの価格で推移しています。アルゼンチン産赤エビは漁獲量の減少により特に大型が前年よりも高値で推移しています。エビ類は全般に円安の影響を受けて、高値で推移しています。
筋子	アメリカ産紅鮭塩筋子は入荷が順調で、価格も前年並みで推移しています。味付け筋子はロシア産・アメリカ産ともに冷凍卵原料価格が下がり、入荷も順調なことから前年よりも安値で推移しています。
数の子	アラスカ産ニシンの漁獲量の減少と円安で高値となっています。国産ニシンが豊漁だったこともあり、輸入物と国内産の価格の差が縮まっています。
練り製品	板かまぼこ、なると巻については順調な入荷で前年並みの価格で推移しています。伊達巻等については卵の価格が上昇していることにより、前年よりも高値で推移しています。